

ひとり1改革運動

「経費の削減」改革賞

自然公園等における啓発看板の一括発注



啓発看板

県民部環境局自然保護室

県立自然公園及び県自然環境保全地域に設置する啓発看板等について、設置や修繕等は各担当が発注していましたが、一括発注したことにより、使用資材の共通化、設置日の集中化、打合せの短縮などにつながり、作製費用を削減することができました。

明治大学 公共政策大学院 北大路教授から一言

県内15の公園・地域は、類似の業務であってもそれぞれの地域状況・条件がかなり違うということですから、公園・地域ごとに担当を決めて仕事をするのが当然です。そのような当然と思われるやり方、職場の常識となっている確立された業務体制・業務プロセスを突き破ってみるリエンジニアリング的発想がこの改善を生み出したのでしょう。経費の削減だけでなく、効果からみた業務の優先順位付けや発注方法の質向上、そして職員チームの情報共有など、いくつもの成果が得られていると思います。

入札参加資格委員会の説明資料削減と 設計図書等の配布方法の改善



4ヶ月で削減したコピー量

総務部企画監(営繕担当)

入札参加資格委員会の説明資料には、OHPと紙の資料を使用していましたが、OHPをやめ、パワーポイントを使用した紙の資料に変更し、資料の量を大幅に削減しました。

また、指名競争入札では、指名業者あて設計図書等を郵送するのをやめ、原則として県ホームページの入札情報サービスに掲載するなどの方法に変更し、資料印刷代及び郵送代の削減とともに、時間節約になりました。

明治大学 公共政策大学院 北大路教授から一言

静岡県では、改善改革の取組が年々盛んになっていますが、あまりにも多忙なために、取組をどこよりも必要としている職場が改善検討の機会を見つけられないことがよくあります。行政における新しい情報ツールや技術の活用、それも自分の職場内だけでの活用でなく、外部の方とのやりとりがある場合の活用は、簡単な手段の変更のように見えても綿密な検討が欠かせません。そのため着手には相当の決断が必要です。よくぞ実行なさったと拍手したいと思います。

使用電力量調整による省エネ

中央図書館総務課



デマンド警報機

最大電力使用量を見込むことは不可能でしたが、レンタルによりデマンド警報機を設置し、使用電力量が設定電力量を超過する見込みであると、アラームで知ることができるようになりました。

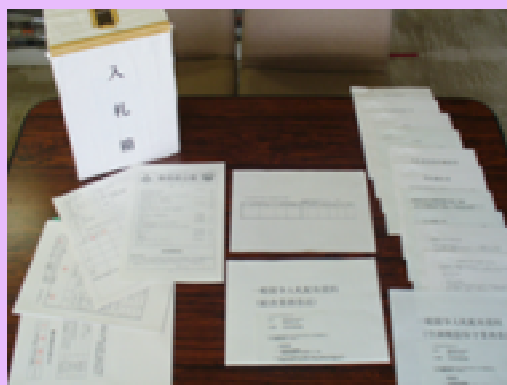
これにより、空調機器の一部を一時的に停止することで、最大電力量を設定数値以下に抑え、電気料金の基本料金を安価にすることができました。

静岡産業大学 大坪学長から一言

1,500円 / 月のレンタルの投資と、一寸した前向きな節電姿勢で年間100万円の節約。工夫と一寸したアイデアで、あまり頑張らなくても出来る改善の好事例です。

業務委託契約を指名競争入札から一般競争入札へ

吉原林間学園総務課



入札関係資料

空調保守点検などの業務委託の入札にあたり、条件の見直しを行い、指名競争入札から一般競争入札に変更しました。

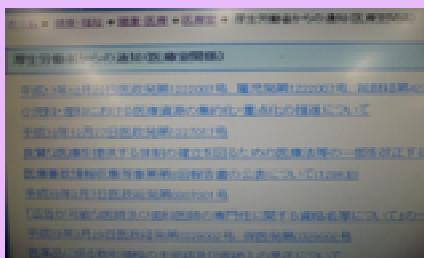
これにより、入札参加を希望する業者に一律に門戸を開放し、入札の透明性、公平性を図り、適正な競争を行うことができ、中には昨年度の契約金額の半分以下となった事例もあります。

明治大学 公共政策大学院 北大路教授から一言

福祉サービスの現場では、日々予想できない出来事に対処が必要ですし、これで完了という基準が作れない業務も多く、調達のようなやり方の決まっている業務について、これまでになく取組を試みようとはなかなか思わないのではないのでしょうか。学園の皆さんが果敢にチャレンジした結果は予想を遙かに超えるもので、大変御苦労なされた甲斐が十分ありました。ひとり1改革運動の特徴として「パクリ大歓迎」がありますが、この学園の取組をぜひ多くの職場でパクって頂きたいと思います。

国からの通知文書を電子化

厚生部医療室



通知を掲載したホームページ

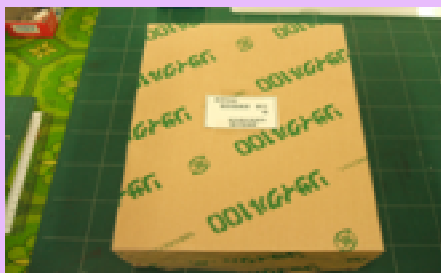
厚生労働省から県あてに来る通知は、全てコピーして県内全病院に配布していましたが、コピーの量や郵送料、事務に要する時間が膨大であるため、通知をPDFファイル化してホームページに掲載したことにより、コピー代及び郵送料を削減することができました。

明治大学 公共政策大学院
北大路教授から一言

結果的に大変な経費と時間の節約が実現した事例ですが、取組のスタートにあるのは、「もっと質の良いサービスができないか」という顧客指向の探求心だったようです。国からの情報をもっと多くの関係者が、もっと早く、もっと簡単に手に入るようにできないものか、あとから簡単に情報を探せるようにできないか、という顧客サービス向上への関心が生み出した改善です。そして、コピー＆発送という仕事をしなくてよくなった担当者満足の上も実現しています。ご自分の職場で同じコピー＆発送をやっている方はいませんか？

分厚い配布物は各市町に直接渡す

賀茂農林事務所農村整備課



市町への配布物

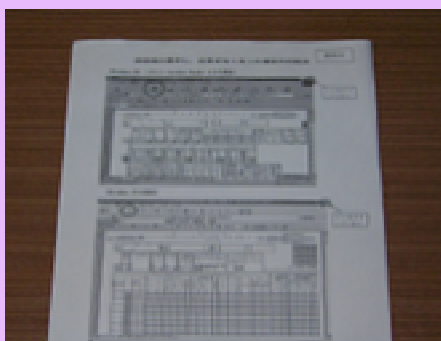
要綱、要領等の重い配布物は、ゆうパックで送付する必要があるが、1件あたり約1,000円を要していましたが、急ぎでない市町あての配布物は、メールで配布物があることをお知らせし、出張の際に寄ってもらうか、こちらから出張がある場合に直接届けることで、郵送料を削減しました。

静岡産業大学
大坪学長から一言

“ついでに”という発想は、コストダウンの定石、それを意識せずによく生かした取組です。
“ついでに”運動をこれをきっかけに始めては、と思います。

学校基本調査用資料の部数及び枚数削減

企画部生活統計室



説明会配布資料

学校基本調査の電算システム簡易マニュアルは、これまで調査対象分全て(約1,700部)印刷し、各市町経由で配布していましたが、内容が昨年度とほぼ同様であったため、各市町から必要部数を聞き、必要部数だけ印刷したことで、350部資料を削減しました。

また、説明会配布資料についても、余白設定や文書の簡易化、様式の統合化、省力化などにより1部あたり12ページ削減しました。

静岡産業大学
大坪学長から一言

極めてあたりまえのことを勇気をもって実行しました。
必要な部数に限定する勇気が節減につながりました。
余白を利用して使用価値を高め、経費を節減しています。
資料枚数の削減は、説明会参加者に、喜ばれた節減になったことでしょう。